

MASTER KEYBOARD

M8000

MIDI CONTROLLER KEYBOARD
¥204,000 (税抜き) 別売スタンド ¥17,000 (税抜き)



プレイヤーとハードウェアを結び 究極のインターフェース。

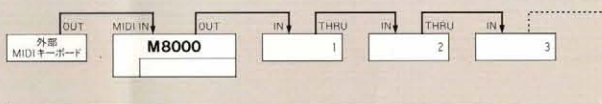
(あらゆるジャンルに対応するピアノタッチ88鍵) プレイヤーとの接点となる鍵盤部分には、KAWAIならではのリアルなピアノタッチ88鍵を採用。限りなくアコースティックに近いタッチは、微妙な演奏のニュアンスを余すところなく伝えます。
(スピーディーな操作を追求したマスターファンクション) スレップとなる器材の音量をワンアクションで制御できるマスターボリュームや、ペロシティセンシビリティや、プレッシャーセンシビリティをコントロールするための専用パルススライダーをパネル上に配置。
いちいちエディットモードに入る必要はありませんから、演奏時のコンディションに応じたリアルタイムなレスポンスを約束します。

(演奏スタイルに柔軟に対応する、豊富なMIDIファンクション) MIDI chは4ch同時にコントロール可能。各MIDI chをグループ分けすることによりMIDI ch別、プログラムナンバー、音域の設定、トランスポーズ等、多彩な機能を割り当て、本体内に99種類メモリーすることができます。

(同期演奏にも対応可能) 本体にトラックとソングセレクト機能を内蔵。最近多くみられる同期演奏時においても、コントロールステーションとしての役割を充分果たします。
たとえば、シーケンサーやドラムマシンをスレップにした場合のランボ管理やソングセレクト、またスタート・ストップをM8000本体で一括制御することができますから、複数のマスター器材を操作する煩わしさはあり

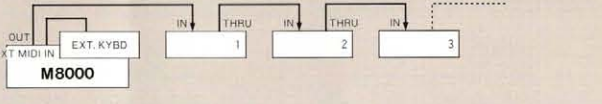
■外部マスター使用例

M8000に対して外部にマスターが存在し、そこから送られてきた信号を本機のセッティングで従って処理し、スレップに送信します。



■EXT. KYBD. 使用例

M8000はEXT. KYBD.を付加することで、2段階的に使用することもできます。



ません。
(ステージで威力を発揮する、抜群の操作性) プレイモードでは、各グループ毎にボリュームコントロールのためのスライダーとMIDI送信ON/OFFスイッチを搭載。
リアルタイムコントロールを充分配慮した設計は、瞬時のオペレーションを要求されるライブ演奏時に威力を発揮します。
さらに、通常のダンパーだけでなく、スタート・ストップ、プログラムアップ、ポルタメントON/OFF、くわえて、任意の機能を割り当てることのできるアサインブル・ペダル端子を搭載。プレイヤーの好みに応じたペダルアレンジが実現可能です。
(表現の幅を広げるエフェクト機能) ディレイやアルペジオ等、ノートONタイミングにはたつきかけて、特殊効果を生み出すコマンドを装備。ちよとしたアイデアで、演奏に様々な彩りをくわえる

ことができます。
(世界のトッププロの使用が物語る信頼性) ツアーユースを考慮して設計された、ヘビーデューティーなボディは抜群の耐久性を誇り、ハードなライブスケジュール下でも、アーティストのプレイを確実にサポートします。
まさに、最先端のライブステージに不可欠なMIDIコントロールステーション。それがM8000です。
[仕様] ●鍵盤: 88(7オクターブ) ●PLAY FUNCTIONS: PORTAMENTO, ARPEGGIO, SONG SELECT, TEMPO, START, STOP, CONT, START, SYNC, START, LINK, BEBET PARAMETERS: MIDI ON, PROGRAM, TRANSPOSE, DETUNE, VOICE LIMIT, DELAY/PRIORITY, DELAY PARAMETER, VELOCITY SENSITIVITY, PRESSURE SENSITIVITY, ZONE, ARPEGGIO, PITCH BEND, MODULATION, VOLUME, DAMPER, PORTAMENTO, PEDAL, SWITCH, EXT. KYBD, REGISTERED PARAMETER, VOLUME ●CONTROL: S: (MASTER) VOLUME, VELOCITY SENSITIVITY, PRESSURE SENSITIVITY, KEY TRANSPOSE, PITCH BEND, MODULATION (CHANNEL) VOLUME (x4), ON/OFF SWITCH (x4) (DATE ENTRY) NUMERIC KEYS (0-9), --, -- ●DISPLAYS: MASTER DISPLAY (3-DIGIT LED), CHANNEL DISPLAY (2-DIGIT LED x 4) ●REAR PANEL: START/STOP, PROGRAM UP, ASSIGNABLE SWITCH, PORTAMENTO, DAMPER, ASSIGNABLE PEDAL, VOLUME, MIDI OUT (x4), MIDI IN, MIDI THRU, EXT. MIDI IN ●寸法: 1,448(W) x 423(D) x 130(H)mm ●重量: 2.8kg ●メモリー: 99 ●アンプ: RAM GARTRIDGE (RG-16)

DIGITAL MIDI SEQUENCER

Q-80

DIGITAL MIDI SEQUENCER
¥69,800 (税抜き)



32独立トラック、3.5インチメディアなど、 音楽制作のための全てを備えた本格的ミュージックツール、 デジタルシーケンサーQ-80。

●Q-80は、完全独立32トラックの、デジタル・MIDIシーケンサー。MIDIシステムのコントロールタワーとして充分なスペックを誇ります。各トラック個別にMIDI chを設定し、最大16トラックまで同時録音が可能です。各トラックは、プレイ中に自由にON/OFFすることができるので、ミキサーを操作する感覚で音源をコントロールすることが可能です。
●本体メモリーは、最大約26,000音(ペロシティ付)、3.5インチ(2DD)フロッピーディスクを使えば、約150,000音のメモリーストックが可能です。
●本体内部10ソング、1,000モチーフ、トラックの組み合わせによる通常のソング作りの他、1ソングにつき100個装備されたモチーフ(ドラム・マシンのパターンのようなもの)の自由な組み合わせによるソング作りも可能。例えば、リズム音源とノート・NOを合わせてモチーフや、リズムパターンとして使用したり、特に気に入ったフレーズや、パッキング・パターンをストックしておくこともできる。このモチーフは、ソング内のトラックに自由に挿入することができます。
●MIDIデータダンプ機能装備。ソングメモリーとは別に、16トラックからなるデータファイルは10個用意しました。1つのトラックに999のエクスクルーシブ・データ

ブロックを格納することができます。この機能によりQ-80はシーケンサーとしてだけでなく、シンセサイザーの音色データやドラムマシンのパターン、ソングデータなどを一括して管理することのできるMIDIデータストッカーになります。例えば、K1のカードなら、Q-80のディスク1枚に何と約80枚入ります。
●ステップ録音の機能が充実。ステップ録音は、Q-80のみでの打ち込み、MIDIキーボードでの打ち込みどちらも可能。ステップ録音モードに入ると、トラックセレクトキーは音源セレクトキーとして動きます。このキーによって、5連符、7連符といった音符の設定も可能です。
●豊富なエディット機能。パーエディットでは、指定した小節単位の編集を行います。イレース、インサートなど通常のエディットはもちろん、指定したノートを別のノートに置き替えるノートシフト、あるトラックから別のトラックに指定した範囲のノートだけを移動するノートスワップ、ゲートタイムを変化させるゲートタイムモディファイなどは、ごく一例です。また、ジャストタイミングの補正はもちろん、微妙なリリを残したままクオンタイズできるアクティブ・クオンタイズ機能を装備。この機能により、指定した音符を積極的に前後にずらすこともできます。
●パンチン・アウト機能。フットスイッチを使ったり、



設定した小節間でのパンチン・アウトが可能。また、リハーサル機能を使って何度も練習ができます。
●その他、10曲まで連続演奏可能なチェイン、ステップ録音時に使用するキーの機能を外部のMIDIキーボードの操作パネルに割り当てることのできるステップファンクションなど、実用的な機能を満載しました。

[仕様] ●インターナル: 10ソング、26,000ノート(ペロシティ付、1ソング中最大150,000ノート)、パッチデータバックアップ ●ディスプレイ: 3.5インチ(2DD)112ソング/150,000ノートメモリー ●ディスプレイ: 16 x 2 back lit LCD ●チャンネル: 1-40-250 ●インテリジェント: 4音源管理 ●ソング: 4モチーフ、MIDI (ソング/トラック/モチーフ) ●ソング: 32トラック、各トラックMIDI ch設定可能、各トラック独立グループ可能、1チャンネル、100キース、チェイン(10曲までの連続演奏可能) ●レコーディング: リアルタイム(同時最大16トラックの録音可能)、ステップ(MIDIキーボード/フットスイッチ)、パンチン・アウト(オート/フットスイッチ) ●エフェクト: パーエディット(5音源/モチーフ/音域/トラック) ●メモリ: ●メモリ: インサート、イレース、ミックス、コピー、トランスポーズ、●ムーブ、クオンタイズ、ノートスワップ、ノートオフ、ペロシティモディファイ、ゲートタイムモディファイ、●メロモディファイ、イベントエクスポート/インポート ●イベントエクスポート/インポート、モディファイ ●データ: デリート、リフレッシュ、インサート ●データ: クラウド、10ステップ/トラック ●システム: チェンネル、クロック(インターナル/MIDI/テープ)、ソロ/モノ、フルタイム、エフェクト、ペダルアサイン、メモリープロテクト ●寸法: 390(W) x 232(D) x 68(H)mm ●重量: 2.2kg ●付属品: AOアダプター、MIDIケーブル、フロッピーディスク

見落とされがちな基本操作

Q-80の操作で見落とされがちなもの、問い合わせの多いものをいくつかご紹介しましょう。

- 1) 本体のイニシャライズ
Q-80の本体に入っているデータを全て削除し、まったくの白紙状態にしています。
作業手順は、まず、本体の電源をOFFにする。次に、ディスクドライブ横のSELECTボタンを押しながら電源をONにする。この作業は、セッティングミス等によって生じたデータの暴走を止める場合などにも有効です。ただし、SYSTEM関係は全て初期化されます(SYSTEM ECHOはOFF、SYSTEM EXCLUSIVEもOFFになる等)ので注意してください。
- 2) MOTIFのインサート
MOTIFをソングトラックに挿入する場合、SONGのBAR EDITのINSERTを使います。
通常、BAR EDITのINSERTはTRACK間だけで行うように思われがちですが、MOTIFや空白小節の挿入もできます。また、MOTIF自体はMIDI chを持っていないので、INSERTされたTRACKのMIDI chに従います。
- 3) SONGトラックへのデータダンプ
データトラックへのエクスクルーシブデータのダンプがうまくいかない場合(めったにそんなことはないんですが……)、は、SONGトラックにエクスクルーシブデータをレコーディングするという技があります。手順は……、普通にリアルタイムレコーディングするだけなのですが、そのときSYSTEMのEXCLUSIVEはONにします。